



JAPANESE A1 – STANDARD LEVEL – PAPER 2
JAPONAIS A1 – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 2
JAPONÉS A1 – NIVEL MEDIO – PRUEBA 2

Wednesday 19 November 2008 (morning)
Mercredi 19 novembre 2008 (matin)
Miércoles 19 de noviembre de 2008 (mañana)

1 hour 30 minutes / 1 heure 30 minutes / 1 hora 30 minutos

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. You may include in your answer a discussion of a Part 2 work of the same genre if relevant. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. Vous devez baser votre réponse sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie que vous avez étudiées. Le cas échéant, vous pouvez inclure dans votre réponse une discussion sur une œuvre du même genre littéraire étudiée dans la 2^e partie du programme. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à amener des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta deberá basarse en al menos dos de las obras estudiadas en la Parte 3. Se podrán hacer comentarios sobre una obra de la Parte 2 del mismo género, si fuera necesario. Las respuestas que no incluyan una discusión sobre al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán notas altas.
- No se permite traer a la sala de examen copias de las obras estudiadas.

次の問題から一つを選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。エッセイを書くにあたっては、授業で学習した Part 3（ジャンル別の部門）の中の、少なくとも二作品に言及しなさい。なお、Part 3 の作品に加えて、Part 2（精読の部門）の同じジャンルの作品を扱ってもよいが、あくまでも Part 3 の作品を主にしてエッセイを書くこと。

物語・小説

1. (a) 物語や小説の中では、登場人物が身を置く社会での不平等の問題がよく扱われます。学習した作品の中で、この問題はどのような内容であって、また、どのように扱われていますか。考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) 作品の中で、登場人物の性格や考え方に変化がおきることがあります。その変化は、作品の中でどのように描かれ、それはまた作品にどのような影響を与えていますか。考えるところを述べなさい。

随筆・評論

2. (a) 随筆や評論の筆者は自分の遭遇^{そうぐう}した過去の出来事をどのようにとらえ、語っていますか。学習した作品の中から例をあげ、考えるところを述べなさい、

あるいは

- (b) 随筆や評論の筆者は、人間として生きるべき道について、どのように語っていますか。学習した作品の中から例をあげ、考えるところを述べなさい。

詩歌

3. (a) 子ども時代を回想するということが、詩歌の作品において重要な位置を占めることがあります。二人以上の詩人の作品から、詩人が子ども時代をどのように提示し、それが作品全体にどのような効果をもたらしているか、例をあげて述べなさい。

あるいは

- (b) 心に残る、良い詩というものは、どのような作品ですか。それはどのような技法やどのような詩想に支えられていたのでしょうか。良い詩の条件について、あなたの考えるところを述べなさい。

戯曲

4. (a) 劇作品における主役の登場のしかたについて、学習した作品から例をあげて、比較対照をし、考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) すべての劇作品は問題の解決を示している、という意見があります。あなたは同意しますか。学習した作品から例をあげて、この意見について、考えるところを述べなさい。

一般的設問

5. (a) 文学作品には「故郷（ふるさと）」がよく描かれています。そのふるさとは、作品の中でどのような意味を持ち、どのような効果を与えていますか。学習した作品の中から例をあげて、考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) 文学作品に表れた「愛」あるいは「孤独」は、作品の中でどのように描かれ、またどのような効果を与えていますか。学習した作品から例をあげ、考えるところを述べなさい。

あるいは

- (c) 文学作品において、理不尽な（道理に合わない）社会にあらがう反骨精神はどのように描かれていますか。あなたの学習した作品から例をあげ、考えるところを述べなさい。

あるいは

- (d) 「文学作品を読む上で最も重要なことは、読者に楽しみを提供することである」という考え方があります。文学の与える楽しみとはどのようなものでしょうか。考えるところを述べなさい。